

事業者部門会議の概要

1. テーマ 太陽光発電の普及促進（第1回）

2. 目的

- ・太陽光発電は、府域の再生可能エネルギーの導入ポテンシャルの大半を占めており、平成26年3月に府市が策定した「おおさかエネルギー地産地消推進プラン」では、太陽光発電の導入目標90万kWを掲げている。
- ・太陽光発電の普及に向けて、府市では、固定価格買取制度を活用した、府市が有する施設の屋根・遊休地と発電事業者のマッチングを進めている。
- ・次のステップとして、このノウハウを活かしつつ、先行事例や発電事業者の意見も参考にしながら、民間事業者の屋根・遊休地と発電事業者とのマッチングのスキームを検討する。

3. 会議の開催

(1) 日時：平成26年7月10日（金）午後3時～午後5時

(2) 場所：大阪府咲洲庁舎18階会議室

(3) 出席者：株式会社池田泉州銀行、株式会社永輝商事、オリックス株式会社、株式会社京セラソーラーコーポレーション、協和電気株式会社、シャープ株式会社

(4) 概要

- ・太陽光発電の導入に関する取組みや課題について、オリックス株式会社、株式会社京セラソーラーコーポレーション及び府から紹介があった。
- ・民間ソーラーマッチング事業について、事務局から他都道府県の事例などの紹介があり、府が実施するに当たっての方向性について議論を行った。

(5) 会議での主な意見（民間ソーラーマッチング事業）

- ・なかなか希望する土地が見つからないので、そんなに多くなくてもマッチングする機会を作ってもらえると、出会いの場も増えると思う。
- ・500kW以上のある程度の大きさがないとコスト的に見合わない。そうでなければ、50kW未満の低圧となる。
- ・大きいところは発電事業者が相当知識を持っていて進んでいくが、小さいまでは気

が回らないので、実は小さいところほどマッチングが必要なのではないか。

- マッチングをやる時に、気をつけなければならないのが紹介者責任。引き合わせたら終わりというわけではないので、不安だなというのは避ける。基準をしっかり作る必要がある。